

教育の未来を拓く！ エビデンスで変わる 学びのカタチ

第8回尼崎市学びと育ち研究所報告会

子どもたちの学びや成長を科学的に探究する研究者が、その成果を発表します。この会が、教育現場の課題と研究の成果をつなぐ対話の第一歩となることを目指しています。未来の教育を共に考えるきっかけを、ぜひ一緒に。



8/19(火)13:00～15:50

①現地参加

小田南生涯学習プラザ

②WEB参加

(尼崎市長洲中通1丁目6-10 JR尼崎駅より徒歩5分)

13:00～基調講演

慶應義塾大学 総合政策学部 教授

中室 牧子

(オンライン登壇)

「科学的根拠で子育て」

エビデンス

ゲストプロフィール

尼崎市学びと育ち研究所の設立から深く関り、教育経済学者としてTV出演多数。デジタル庁シニアエキスパート(デジタルエデュケーション)。政府のデジタル行財政改革会議、規制改革推進会議等で有識者委員を務める。著書『『学力』の経済学』『科学的根拠で子育て』は教育書として異例の30万部突破。「ワイド! スクランプル」「ホンマでっか!?TV」「すすく子育て」「情報7daysニュースキャスター」出演。

14:00～研究発表

- 「長期欠席はなぜ増えたのか？」
- 「誰が支援を必要としているのか？」
～いくしあデータから見る尼崎の子育て支援ニーズとその重なり～
- 「乳幼児教育を科学で紐解く」
～人格形成の基礎を培うことの大切さ～
- 「幼児期に必要な運動プログラムの実践とその成果」
- 「発達と学力に影響する幼児期の生活とは」
- 「尼っこ健診・生活習慣病予防コホート研究」
- 「ヤングケアラーのケア役割と性格に関する検討」
- 「保育園が支える子どもの育ち」

参加費：無料
定員：70人
要申込：QRコードから→



参加申込



当日WEB視聴

学びと育ち研究所研究員による研究発表

所長 大竹 文雄（大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授）
「長期欠席はなぜ増えたのか？」



主席研究員 安藤 道人（立教大学 経済学部 教授）
「誰が支援を必要としているのか？」
～いくしあデータから見る尼崎の子育て支援ニーズとその重なり～

主席研究員 北野 幸子（神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授）
「乳幼児教育を科学で紐解く
～人格形成の基礎を培うことの大切さ～」

※ 代理発表 中京大学 スポーツ教育学科 教授 國土 将平、講師 佐野 孝



主席研究員 中尾 繁樹（関西国際大学 教育学部 教授）
「幼児期に必要な運動プログラムの実践とその成果」

主席研究員 永瀬 裕朗（神戸大学大学院 医学研究科 特命教授）
「発達と学力に影響する幼児期の生活とは」



主席研究員 野口 緑（大阪大学大学院 医学系研究科 特任准教授）
「尼っこ健診・生活習慣病予防コホート研究」

主席研究員 濱島 淑恵
（大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授）
「ヤングケアラーのケア役割と性格に関する検討」



主席研究員 藤澤 啓子（慶應義塾大学 文学部 教授）
「保育園が支える子どもの育ち」

